

2010年5月24日

## シリコンスタジオ、J:COM に EditShare XStream サーバーシステムを納入、 柔軟性と拡張の高い共有コラボレーション ワークフローを構築

エンターテインメント業界向けにデジタルコンテンツ関連ビジネスを展開しております、シリコンスタジオ株式会社(代表取締役社長 寺田健彦、本社 渋谷区恵比寿、電話 03-5488-7070(代表)) (以下、シリコンスタジオ)は、株式会社ジュピターテレコム(以下、J:COM)に、米 EditShare(エディット・シェア)社製の共有ストレージサーバーシステム「XStream(エクス・ストリーム)」を納入し、ユーザーのニーズに対応した、共有サーバーを核としたノンリニアのコラボレーション環境を実現しました。

XStream は、エディット・シェアのハイエンド共有ストレージサーバで、フィールド作業からフィニッシングまで、HD、2K 素材を扱うプロダクション環境に対応する、コストパフォーマンスおよび拡張性に優れたイーサネットベースの共有ストレージソリューションです。

J:COM では、制作物の増加、多様化に対応するため、サーバーベースのシステム構築を検討するにあたり、インジェストしたメディアの共有による効率化、冗長的にデータ全体の共有化を進めて全体の作業効率を上げるためのデータのセンタライズ化をキーポイントとして、システムの選定を進めていました。SAN タイプのシステムとの比較の中、エディット・シェア製品の提供するシステムのパフォーマンス、NAS(イーサネット)による運用、メンテナンスの容易さ、NAS ベースのシステムでありながら、1クライアント当り DVCProHD x 4 ストリームを確保できるなど、製品パフォーマンスの総合的な判断から XStream の導入に至りました。

エディット・シェア社の XStream サーバー環境は、信頼性、柔軟性、拡張性に富み、また共有サーバーを核(データのセンタライズ)としたノンリニアとのコラボレーションを実現することで、J:COM のニーズに応えると共に、複数のノンリニア環境への対応も可能であるなど、プラスアルファの機能も将来的に提供可能としました。当社の共有ストレージサーバーシステムは、Avid、FCP はもとより、Edius、Premire、Vegas などあらゆるノンリニア環境をサポートしています。また、エディット・シェア製品構成に応じてリアルタイムで編集できる素材ストリームのトータル数が保証されていますので、ノンリニアの編集に安心してご利用いただけます。

今回 J:COM で採用された XStream は、J:COM の 2 拠点、青海スタジオと丸の内オフィスの間に置かれています。青海オフィスでは 32TB 容量のシステム、丸の内オフィスでは 16TB 容量のシステムが置かれ、拠点間は 100Mbps の専用線で結ばれています。青海では主にインジェストと素材確認が、サーバーに接続された 7 式の Apple Final Cut Pro (FCP) システムで行なわれ、丸の内では、主に青海で取り込んだ素材をノンリニア編集する 10 式の FCP システムで運用され、2 拠点でのサーバー環境は一つの NAS システムとして、共有作業環境を実現しました。

J:COM では、出資および運営しているチャンネル\*の購入番組を放送用に加工する作業と、その番組等を制作する作業に XStream を使用しています。

\*ムービープラス、LaLa TV、ゴルフネットワーク、チャンネル銀河

「このシステムを選択した大きな理由は NAS ベースであること、ストリーム数保証があること、様々な編集システムに対応できることなどです。新システムの導入にはトラブルがつきものと思っていましたが、導入後、大きなトラブルもなく順調に使用できています。またサーバーを 2 拠点に置いての使用でも大きなストレスを感じることなく作業ができています。現在は、さらに作業効率を上げるため、様々なフローのテストをしているところです。」と、J:COM コンテンツ制作部の平野宏一部長は語っています。

エディット・シェア社では、NAB2010 にて製品ラインアップを一新し、また Geevs 社、LightWorks 社の買収によって製品ラインの強化を果たし、素材のインジェストからデータ変換、編集、保存、アーカイブからプレイアウトまで、放送番組制作に関わるプロセスをワンストップで提供できるようにしました。独自のプロジェクト共有機能、メディアデータの共有を可能にする Universal Media Format (UMF) や、柔軟な拡張性を提供する Extreme Scalable Architecture (ESA) など、強力な機能を継承しつつ新たな製品ラインを加えることにより、より一層ユーザーニーズに的確に対応できるメーカーとして、更なる製品ラインの強化を進めています。

シリコンスタジオは、これら強力なソリューションを中心に、より細分化、高度化するファイルベースのプロダクション編集環境のインテグレーションから充実したアフターサポートまで、放送事業者のニーズに的確にお応えいたします。

###

■ 株式会社ジュピターテレコムについて

<http://www.jcom.co.jp/corporate.html>

■ シリコンスタジオ株式会社について

シリコンスタジオ株式会社(シリコンスタジオ)は、エンターテインメントの業界で、デジタルコンテンツに関する事業を幅広く展開するために2000年1月1日に設立されました。シリコンスタジオは2009年、新たなCIと共にエンターテインメントの一步先をいく『EnterNext』を掲げ、より積極的に、より発展的に、エンターテインメントの新たな可能性と価値を生みだしていきます。シリコンスタジオは、レンダリング技術の研究&開発、ゲームコンテンツ開発、コンテンツ制作環境やプロフェッショナル映像システムのインテグレーションとデジタルクリエイター派遣の4事業を中心に、業界最高峰の技術提供を行いながら、“創る人”、“愉しむ人”に感動を与えられる企業を目指しております。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先:

シリコンスタジオ株式会社  
コーポレートパブリックリレーションズ  
担当: 山下  
E-Mail: pr@siliconstudio.co.jp